

KEYNOTE LECTURE ABSTRACT

SATURDAY, FEBRUARY 4, 2017

4:30-6:00 PM

語用論：日本語の学習者・教師の方々のご参考までに

Pragmatics for Teachers and Students of Japanese

Dr. Mutsuko Endo Hudson

本講演ではまず、日本語の語用論の基本をご紹介します。語用論（プラグマティクス）というのは言語学の1分野で、「言語使用」つまり「言語とコンテキストとの関連」を扱う分野です。たとえば、誰が、誰に、どのような状況で、どのような意図を持って話して（あるいは書いて）いるのかなどを考慮し、言語形式や文・談話の流れを分析します。言語表現は、話し手（書き手）と相手との親密度、年齢など上下関係、ウチ・ソト関係、立場の相違のみならず、視点、情報源、言語行為、ポライトネスなどの要素によっても影響されます。このような知識は、日本語の学習者や教師にとって必要不可欠なものですが、多くの方々にとっては無意識に掌握している事柄かも知れません。それらを意識化・体系化することは教育の現場でも役に立つのではないかと思います。

今回は、「挨拶、依頼、謝罪、意志（時間があれば、終助詞のネ）」などについて、これまでの研究結果を織り交ぜてお話しします。データは、日本人大学生とのインタビュー、ウェブコーパス、小説、テレビ番組などを使います。「日本語（あるいは言語学）は何と面白いのだろう！」と同意していただければとても嬉しいです。